

交通局

下水道河川・水道・交通委員会
令和 6 年 12 月 12 日



横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例に基づく 令和 5 年度の実施状況について

1 脱炭素社会の形成の推進に関する施策の実施状況について 2

【掲載取組】

基本方針名	報告書 掲載頁
(1) 基本方針 6 市役所の率先行動	50～51 頁

1 脱炭素社会の形成の推進に関する施策の実施状況について

(1) 基本方針6 市役所の率先行動 局・統括本部ごとの取組実績等

交通局（高速鉄道事業・自動車事業）

1 事業の実績と取組など

(1) 高速鉄道事業

- ・2022(令和4)年度の温室効果ガス排出量は、2013年度比 14.7%増の 5.8 万トンとなりました。
- ・2023(令和5)年度のエネルギー消費量は、2013年度比 0.8%増の 1,197TJとなりました。
- ・2023(令和5)年度は、駅照明等に設置している蛍光灯及び水銀灯の LED 化を進め、LED 化率は 44%となりました。
- ・駅及び車両基地のうち 4 施設に太陽光発電設備を導入しています。
- ・現時点では、一般公用車に次世代自動車等の導入は行っていません。
- ・ブルーラインの新型車両(4000 形)を追加で導入することで、省電力化を図りました(2022(令和4)年度に 5 編成導入。2023(令和5)年度に 3 編成導入。)
- ・2023(令和5)年度から、資源循環局ごみ焼却工場で発電した電気環境価値(非化石証書(再エネ指定なし))を活用し、グリーンラインは実質 CO₂ 排出ゼロの電力で運行しています。

<温室効果ガス排出量及びエネルギー消費量の状況>

上段:実績、下段:増減率(基準年度比)

	基準年度 (2013 年度)	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
温室効果ガス排出量 [万 t-CO ₂]	5.0	5.7	6.0	5.8 (14.7%)	—
エネルギー消費量 [TJ]	1,188	1,263	1,268	1,254	1,197 (0.8%)

<対策の取組状況>

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
LED 等高効率照明の導入	29%	30%	42%	44%
太陽光発電設備の導入	4 施設	4 施設	4 施設	4 施設
一般公用車における次世代自動車等導入	0%	0%	0%	0%

(2) 自動車事業

- ・2022(令和4)年度の温室効果ガス排出量は、2013年度比 14.8%減の 2.9 万トンとなりました。
- ・2023(令和5)年度のエネルギー消費量は、2013年度比 15.2%減の 438TJとなりました。
- ・2023(令和5)年度の LED 化率は 49%となりました。
- ・所有施設に太陽光発電設備は設置していません。
- ・現時点では、一般公用車に次世代自動車等の導入は行っていません。
- ・FC バスをリースで 3 両導入しています。

<温室効果ガス排出量及びエネルギー消費量の状況> 上段:実績、下段:増減率(基準年度比)

	基準年度 (2013年度)	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
温室効果ガス排出量 [万t-CO ₂]	3.4	3.0	2.8	2.9 (▲14.8%)	—
エネルギー消費量 [TJ]	517	454	424	435	438 (▲15.2%)

<対策の取組状況>

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
LED等高効率照明の導入	46%	49%	49%	49%
太陽光発電設備の導入	0施設	0施設	0施設	0施設
一般公用車における次世代自動車等導入	0%	0%	0%	0%

2 職員の取組

会議等においてディスプレイやグループウェアを活用し、資料の電子データによる共有に努め、ペーパーレス化を推進しました。また、全職員を対象とした環境研修の受講やグリーン購入の推進を行いました。